

クマイチゴ・モミジイチゴ・チョウジザクラ、
(マメ科) ユクノキ、(ツリフネソウ科) ツリ
フネソウ・キツリフネ、(マタタビ科) サルナ
シ、(タデ科) イタドリ・スイバ、(ミズキ科)
ミズキ、(スミレ科) タチツボスミレ・ヒナス
ミレ・ケマルバスミレ・ツボスミレ・オカス
ミレ、(ウコギ科) ヤマウコギ・ウド、(セリ
科) セントウソウ・ジャニンジン・ウマノミ
ツバ・セリ、(イチヤクソウ科) ベニバナイチ
ヤクソウ、(アワブキ科) アワブキ、(エゴノ
キ科) ハクウンボク・オオバアサガラ、(オオ
バコ科) オオバコ、(イワタバコ科) イワタバ
コ、(モクセイ科) ミヤマイボタ、(ゴマノハ

グサ科) オオイヌノフグリ・タチイヌノフグ
リ・クワガタソウ、(サクラソウ科) サクラソ
ウ、(リンドウ科) アケボノソウ、(スイカズ
ラ科) ニワトコ・ガマズミ、(アカネ科) アカ
ネ・クルマムグラ、(シソ科) タチキランソウ、
(キク科) サワギク・フキ・オトコヨモギ・オ
ニタビラコ・ヒメジョオン、(カヤツリグサ科)
コハリスゲ・ヒメカンスゲ、(ツユクサ科) ツ
ユクサ、(サトイモ科) ヤマザトマムシグサ・
ホソバテンナンショウ・ショウブ、(ユリ科)
ウバユリ・ユキザサ・チゴユリ・ヤマガシ
ウ・イワギボウシ・ミヤマエンレイソウ・ナ
ルコユリ

〔夏季例会合宿調査報告〕

湯の丸山・烏帽子岳の植物観察

池田登志男

第150回例会は平成7年7月18日～19日の2
日間、小県郡東部町の湯の丸山～烏帽子岳で
行われた。

参加者は幹事の林一六会長、林先生の研究
室にいる山下氏と宮島吉彦・中山 例・池田
登志男、2日目の朝、飯山市から馳せつけた
大平仁一氏夫妻、佐久の友野増夫、丸子の白
井幸長、上田の川上美保子の計10名であった。

第1日目の8日は夕方宿舎の花紋に集まり、
懇親会と夕食の後、宿の若主人の柳沢さんの
標本を拝見したり、湯の丸・烏帽子一帯の植
物分布の現状や貴重種などの話を12時近く
になるまで聞く。宿舎の前の道端に見馴れない
オトギリソウがあるとのことで早速調べてみ
たところ外来のコゴメバオトギリであること
がわかった。1年ほど前から目についたとのこ
とであった。

第2日目の9日は、朝9時ごろ宿を出て、
湯の丸山の山腹の登山道を登りキャンプ場を
経て湯の丸山と烏帽子岳の鞍部に着いて昼食。
それから烏帽子岳の山頂に向かう。頂上
(2065 m)に着いたのは午後2時頃。それから
同じ道を戻り宿舎に夕方4時半ごろ帰った。

朝出発してから午前中に観察した主なもの
では、高木ではアカマツ・ミズナラ・ハリギ
リ・ズミ・キタゴヨウ・サビバナナカマド・
タカネザクラ・コメツガ・オオバミネカエ
デ・ダケカンバ・シラカバなどの林が見られ、
低木や小低木などでは、ミネヤナギ・ニシキ
ウツギ・ミヤマイボタ・レンゲツツジ・シモ
ツケ・ミヤマニガイチゴ・ヒロハツリバナ・
ミヤマホツツジ・サラサドウダン・コヨウラ
クツツジ・アズキナシ・ムシカリ・チョウセ
ンゴミシ・ツノハシバミ・ミヤママタタビ・
ハクサンシャクナゲ・ミヤマガマズミ・ウス
ノキ・ツクバネウツギ・クロマメノキなどが
主なものである。

草本類ではハクサンフウロ・クガイソウ・
コウゾリナ・ワレモコウ・ヤマヨモギ・ウマ
ノアシガタ・ノコギリソウ・ハバヤマボク
チ・ウスユキソウ・ウド・イワカガミ・ウシ
ノケグサ・シャジクソウ・ヘビノネゴザ・オ
オバコ・シシウド・ヤナギラン・アヤメ・グ
ンバイヅル・キオン・ニガナ・タチツボスミ
レ・ハンゴンソウ・ノハラアザミ・オオヤマ
フスマ・ウツボグサ・ヒメスゲ・ムカゴトラ

ノオ・マイヅルソウ・ミツバツチグリ・ミヤマワラビ・ミノボロスゲ・アキノキリンソウ・キオン・シロトダシバ・ヤマドリゼンマイ・ヤマハハコ・ネバリノギラン・アマニュウ・ミツバオウレン・タムラソウ・ミヤマニンジン・イタドリ・グンナイフウロ・スズラン・ショウジョウバカマ・ノダケ・コメギヤ・エゾリンドウ・シオガマギク・キバナヤマオダマキなどが見られる。

登山道端で1ヶ所コゴメヒョウタンボクが見られるが浅間連峰では湯の丸山だけで確認されている貴重種である。また東信で見られるササは主としてシナノザサ・ニッコウザサなどであるが、湯の丸と烏帽子の間の鞍部あたりでは、オオバザサが見られる。

烏帽子岳で目についた主なものとしては、オガラバナ・キタゴヨウ・タカネザクラ・ヤハズハンノキ・サラサドウダン・カラマツ・シナノキ・コメツガ・ミネヤナギ・レンゲツツジ・ウラジロヨウラク・ホツツジ・ヒロハヘビノボラズ・ミネズオウ・ツガザクラ・アスヒカズラ・マンエンズギ・イワインチン・タカネニガナ・コメススキ・アズマギク・マルバダケブキ・イワカガミ・ツマトリソウ・シャジクソウ・イブキボウフウ・シシガシラ・マツムシソウ・ムラサキヤシオ・テガタチドリ・ハクサンチドリ・ベニバナイチヤクソウ・ヤグルマソウ・ミヤマシグレ・クガイソウ・ヤナギラン・ミヤマニンジン・グンバイヅル・ミヤマキンボウゲ・ゴゼンタチバナなどである。ムラサキヤシオの分布は烏帽子岳以北でここから南の佐久地方では全く見られない。また、湯の丸山のレンゲツツジの群生は以前からよく知られているが、烏帽子岳の南斜面のレンゲツツジがちょうど花盛りで実に美しかった。

烏帽子岳山頂で30分ほど休憩して帰途についたのは午後2時半ころ、そして宿舎のある地蔵峠に着いたのは4時半ごろであった。2日間お世話になった林一六先生に感謝しながら、各自家路についた。

会 記

平成7年5月20日 第148回例会。「上村日影岩周辺の植物観察会」講師：芹沢俊介氏（愛知教育大）、幹事：井上 健。参加者10数名。

平成7年5月21日 第149回例会および平成7旧年度総会。信大教養部にて。

〔講演〕 芹沢俊介氏（愛知教育大）「長野県のテンナンショウ属植物」

〔総会〕 議長 山崎 淳氏。

- (1) 林会長より挨拶があった。
- (2) 新会長の選出。新会長に筑波大学の林一六氏が再任された。
- (3) 平成6年度 庶務・会計報告、いずれも承認。
- (4) 編集委員長より編集委員会報告があり、会誌28号の編集状況が説明された。
- (5) 平成7年度予算案審議

会報のDTP化に伴い、会の財政状況が好転しているとの説明があった。予算案は異議無く承認された。

(6) 役員改選

役員が改選され、以下の方になった（任期2年）。

<会長>林 一六 <幹事>井上 健・菅原敬（以上事務局）・土田勝義・大木正夫・横内文人 <会計幹事>相馬 潔・松田行雄

平成7年5月下旬 会報28号発行

平成7年7月8日～7月9日 第150回例会。

「湯の丸山・烏帽子岳の植物観察」幹事：林一六氏。参加者10名。

（井上記）